

義多文に擲れて、貝休的合闘の災魂を研習した巧妙なる介婆主
義者でないか。俺達は現実性の合闘ぶを今日の急務とするハ
ある。

更に又、指導精神を問題にしてはいかぬ。指導精神も云々する
のは、自身の指導精神の貧弱さを物語るものであると共に、永久
に合闘は不可能であるといふ。殊に小鬼欺しの非唯物論的な
者へ力をする狂想的合闘論者である。一是の指導精神は資本
主義の客観的状態に適応して、味方の斗争の教練の結果、此れ
規定されるものだ、かくして一つの指導精神が確立され、その科
学的理論のもとに戦場、戦術を規定するのである。この指導
精神と猶の服の如く変り行く指導精神とは対立するのは当然
であるが、さりとて指導精神は永久不変のものでもない。敵の陣
容と攻勢の方法、味方の斗争力の変遷は、必然に新しい指導
精神を必要とするのだ。斯の如く一是の戦列に同じ立場と行へ方
に在る全隊、大衆の合闘ぶも当然であると共に、先鋒は認識の誤
れる指導精神を有する愚者だであるが、此れは現実の斗争を
進むに危険な同一の立場と方針と考へ方を持つことに依る初め

合同は可能と存る。

更に彼等は日大衆党との合同を妨害せんが如くに全党林に社民
以上の取引をすすむが方針に属するといふべきを能す。若し勝るとす
れば、指導精神、忠實を調べ、除きたり脱党なりさすれば、長いの
だ。寛は少教幹部の利己的黨員にそれと同様に扱っておかない。
党林。大衆の仲間を要求してあるのに幹部が思いからして、此れは
合同には難題上無関係である、戦斗力の強大化の如くに指導は
こんだ。此の如く、日々に次の大合同を締結されたいはならぬ。
彼等に彼等は共同斗争を通じて全制合同へと主張して居る
だが諸君！英周斗争は両者が花介の理解と融會があつて初めて
その功に輝く輝くのだ。どんな希望と計画とを内蔵して居る
かも知れない事の出る事はないのだ、どうして共同斗争が出来ない
か。例へば、その争議の場合、若輩の戦術は英周の手法がまづいて
委員会で試み、試み、討議の争闘を遂行すると全隊が討議の争闘を
後援して賛成して、実際の斗争を遂行すると全隊が討議の争闘を
後援する。その争闘が同一の戦術を英周の戦術を指導するの如